

令和3年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

12件

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評 価 コ メ ン ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6		
中国四国	鳥取県	伯耆町	大山日光山麓林野ワイズユース協議会	●	●	●■	/	/	/	C	地域の自然資源を活用したイベントを各種実施できており、コロナ禍による影響から少しずつ回復しつつあるものの、依然としてイベント参加者数が低迷しており、事業実施継続のためには各種事業の検討と事務局の体制強化が必要と考えられる。
中国四国	岡山県	矢掛町	みかわてらす協議会	●	●	●■	/	/	/	A	令和3年12月に運用テストを実施、令和4年3月にはWEBサイトの説明会を行い利用促進を図ることができた。運用テストで注文から発送までの確認ができ来年度以降の活動に備えることができたが、長引くコロナ禍に対応できる運用を検討していく必要がある。目標及び評価指標については達成することができた。
中国四国	岡山県	吉備中央町	吉備中央町観光協会	●		■	/	/	/	B	コロナ禍による農家民宿の受入等の休止、連携予定の旅行業者の体制変更等により復職プログラムによるモニターツアー等を実施できなかった。パンフレットを活用して旅行業者、県庁の視察団等へのPR、意見聴取等を行うなどコロナ禍明けに向けて情報発信及び準備を進めている。
中国四国	愛媛県	東温市	奥松瀬川地区農村活性化協議会	●	●	●■	/	/	/	A	「森のようちえん」事業は、自治区や地元小学校との連携体制も構築でき、自然体験教室を複数回開催、ベースとなる基本施設や遊具も完成した。特産品開発事業では、耕作放棄地及び荒廃農地を再生し、植栽(柚子、蔓人参、ぶどう)面積を拡大している。
中国四国	愛媛県	伊方町	佐田岬海のブランド産品推進協議会	●	●	●■	/	/	/	A	昨年度から続く新型コロナウイルスの流行による交流事業や集客イベントへの制限により年度当初予定していたイベント事業は実施できなかったが、アフターコロナを見据えた新たなツール作りを実施し目標を達成することができた。
中国四国	高知県	本山町	本山町みらい創造協議会	●	●	●■	/	/	/	A	直売事業による商品開発の成果が表れ、計画を上回る215%と目標達成となった。 交流人口については、新型コロナウイルスの影響で活動に制限されていたが、移住フェアや農業体験の実施等の結果、206人と目標を達成した。 今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、引き続き地元農産物を活用した商品開発、販促活動の充実を図っていく。

中国四国	高知県	四万十町	四万十町スマート定住対策協議会	●	●	●■	/	/	/	A	本年度は、令和元年度策定した「地域の活動計画」にもとづき、町内で移動販売を実施している事業者と協同し、「町民データベース」（移動販売利用者の情報）を構築する実証活動を行った。また、長期的成長展望として計画に掲げている「ICT、IoTを活用した若い農業者の持続可能な定住条件の確保」を実現するため、農家と就農希望者を中心としたマッチングサイト構築に取り組んだ。
中国四国	岡山県	真庭市	蒜山SDGs農村ツーリズム協議会		●	●	○□	/	/	A	様々なスキル等を持つアイデアを持ったプレーヤーが蒜山地域に集結し、アイデアソンを実施した。数多くのアイデアをいただき、また、参加者にも蒜山地域を知っていただき、交流人口の創出を行うことができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、継続的な交流等、事業化に向けての活動が実施できなかったがSNSを利用したつながりを構築できている。
中国四国	広島県	大崎上島町	大崎上島町地域活性化協議会		●	●	○□	/	/	B	新型コロナウイルス感染症の影響により第1回目のアイデアソンは中止、2回目は少人数での実施となるなど、大幅な規模の縮小を余儀なくされた。島弁当作成事業についても感染症の影響があったものの試作品が完成しモニターを実施、ウェブサイト作成時業、SNSを利用してベランダ農業に取り組むなど、他事業は順調に進捗している。
中国四国	高知県	北川村	北川村地域活性化協議会		●	●	○□	/	/	B	関係人口の創出についてはコロナウイルス感染症拡大の影響により事業が延期や中止になったことに伴い、目標値を大きく下回るなど、今後の事業推進に当たって課題がある現状となっているが、HP、SNSへのアクセス数については、目標値を大きく上回り認知度においては十分な達成となった。
中国四国	広島県	安芸高田市	三矢の訓え地域協議会			●	○	○□	/	B	例年以上の積雪等もあったが、里山を活かした活動、竹林を活かした活動ともに取組を進めることができた。ただ、各活動の実施が遅れた影響もあり、FBでの発信が不十分であった。
中国四国	山口県	長門市	むかつ国で遊ぼう協議会			●	○	○□	/	A	計画を上回る達成状況となった。特に、宿坊の日帰り利用者数が想定を大きく超えたことにより、宿坊の交流人口数の目標達成の大幅な超過に大きく貢献した。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・優良 B・・良好 C・・低調

【令和3年度農山漁村振興交付金(地域活性化対策)の評価概要】

- ・令和3年度の地域活性化対策事業評価では、令和元年度採択の7団体、令和2年度採択の3団体、令和3年度採択の2団体の合計12団体を評価した。
- ・事業評価の結果、実施計画に基づく取組が概ね実施され、成果として十分上がっていると認められる総合評価「A」が7団体で、取組がある程度実施され、成果もある程度上がっていると認められる総合評価「B」が4団体で、取組状況、事業実績、実施体制のいずれかが低調であると認められる総合評価「C」が1団体であった。
- ・本交付金の活用により、地域活性化に一定の成果が出ていると認められる一方で目標達成状況が低調な団体に対しては指導・助言を行う必要がある。
- ・特にC評価となった1団体については、地域活性化を継続的に実施出来るような体制整備や目標達成に向けた活動の検討を引き続き行う必要がある。

【令和4年度評価委員会の議事概要】

- 1 日時: 令和4年9月27日(火)13:30～15:00
- 2 場所: 中国四国農政局会議室(10階)
- 3 概要: 令和4年度評価対象団体の評価について
令和3年度地域活性化対策を実施した12団体について、評価案等に関して、了解を得た。
- 4 主な意見:
 - ・みかわてらす協議会、四万十町スマート定住対策協議会は暮らしやすさを向上させる面白い取組だと思う。地域内の人々の暮らしの向上を目的とした取組がもっと出てきてほしい。
 - ・コロナの影響を受けている事業実施主体が多い。事業内容の変更、縮小など工夫をして事業を続けていくことが大切。
 - ・交付金があるから事業を始めた地区もあるだろう。交付金をそういった組織、取組を始める起爆剤として活用していただけたらと思う。